

白杵市 施策評価シート  
(令和3年度)

評価 担当者	課名	氏名	内線
	秘書・総合政策課	安東 信二	2110

コード	VI-17-37	施策名	公共交通の利便性の向上
施策の方針	交通基盤を整える		
まちづくりの方針	社会基盤が整い、行動力ある市民が暮らすまち(社会基盤)		
5年後のめざす姿	高齢者の生活支援としての外出機会と安全な移動手段の確保のため、公共交通機関の利用を促進します。「地域の交通は地域住民が主体となって守る」ルールを設定するとともに、公共交通に対する市民のニーズを的確にとらえ、地域の実情に合った路線の見直しなどにより新しい交通網の構築をめざします。		
施策の内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コミュニティバス、既存の民間バス路線やスクールバスなど全体的なバス路線について検討します。</li> <li>・福祉・教育・地域コミュニティから見た公共交通の在り方を踏まえた移動手段の確保を検討します。</li> <li>・以上の点を踏まえ交通事業者との連携・協力体制の強化を図ります。</li> </ul>		

<指標>

新規 指標	指標名	説明・算式・引用	単位	実績の推移						
				R1	R2	R3	R4	R5	R6	
コミュニティバスの年間乗車人数	白杵市コミュニティバス運行実績	白杵市コミュニティバス運行実績	目標		12,000	12,000	12,000	12,000	12,000	12,000
			実績	人	12,386	9,711	9,654			
			達成率	%		80.9%	80.5%			
コミュニティバス1便あたりの乗車人数	利用者数÷運行便数/白杵市コミュニティバス運行実績	利用者数÷運行便数/白杵市コミュニティバス運行実績	目標	人	2.7	2.7	2.7	2.7	2.7	2.7
			実績	人	2.8	2.2	2.2			
			達成率	%		81.5%	81.5%			
白三線1便あたりの乗車人数	利用者数÷運行便数/白津交通(株)調査	利用者数÷運行便数/白津交通(株)調査	目標	人	6.2	6.2	6.2	6.2	6.2	6.2
			実績	人	6.1	4.9	4.3			
			達成率	%		79.0%	69.4%			
			目標							
			実績							
			達成率	%						
			目標							
			実績							
			達成率	%						
			目標							
			実績							
			達成率	%						
			目標							
			実績							
			達成率	%						
			目標							
			実績							
			達成率	%						
指標の分析										
3項目とも目標に達していません。現状を踏まえ、バス運行の時間やルートの変更等を検討し、市民が使いやすい地域公共交通にする必要があります。										

<市民意識調査結果>

	領域名	必要度	満足度	満足度
市民意識調査結果(R3調査)	強化領域	2.66	1.81	2.30
市民意識調査結果分析	令和3年度実施のアンケート結果では、「必要度」が高く、「満足度」は低い「強化領域」に位置しており、取り組みの強化が求められています。			2.06
	高齢化が進む中、公共交通へのニーズはますます高まっています。それに対して、十分なサービスを提供できていないという調査結果と受け止めています。			2.59

<次年度以降の課題>

令和4年度以降の課題	各地域から市街地への交通アクセス手段を適切に確保・維持できるかが課題です。
------------	---------------------------------------

<施策を構成する主な事務事業一覧表>

事務事業名	事業内容	担当課 ※実施した課を記入	課の重点 ※運営計画記載	事業費(単位:千円)			課長 評価	公共 5カ 年	他の 関連施策 コード
				R2年度 実績	R3年度 実績	令和4年 度年度 見込み			
1 地域公共交通対策事業	コミュニティバス9路線や地域住民の生活や学生の通学に不可欠な民間バス路線維持のための財政支援	秘書・総合政策課	○	42,030	42,869	40,885	重点継続		VI-18-39
2 高校生バス通学用定期券購入助成事業	市内高校に通う子どもたちのバス通学定期券購入補助(1ヶ月につき1万円控除した額)	秘書・総合政策課		3,641	3,071	5,300	継続		
3									
4									
5									
6									
7									
8									
9									
10									
合計				45,671	45,940	46,185			

<施策の今後の展開 ~担当課長評価>

進捗状況	持続可能な公共交通の形成を図るため、令和3年度に「白杵市公共交通計画」を策定しました。この計画で整理した課題の解決に対し、解決策を実施していきます。具体的な解決策は、あらゆる輸送手段を総動員した地域公共交通網を形成することです。そのためにモデル地区で実証実験を実施し、今後の市内全域での展開につなげていきます。	課長評価
概ね順調		目標を達するため、現状維持とする

<施策の今後の展開 ~内部評価(内部検討会)>

※以降の評価は、令和3年度～令和5年度の3カ年に分けて実施予定。

実施年度	内部評価
令和4年度実施	指標の実績の推移は、目標に達してはいませんが、令和3年度に「白杵市公共交通計画」を策定し、今後の取り組みについて明確したところであるため、現状の取り組みを継続していくこととしました。
	目標を達するため、現状維持とする

<白杵市行政活性化推進委員会による外部評価:最終>

外部評価	評価のコメント
強化	利用したいけど、便数が少なく、使いたいときに使えないという声がある。地域のニーズを把握し、様々な手段を活用しながら、より利用しやすい形としてほしい。また、こども園の送迎バスや地域の個人の乗用車など、多様な方法の検討を。さらに、観光等を含め、利活用についても検討してほしい。

<白杵市行政活性化推進委員会を受けての市の取組>

高齢化が進む中、公共交通の役割は益々大きくなっている。令和5年度は、市内循環バスの休日運行の実証実験や、利用者がわかりやすい公共交通マップの作製、デジタル情報サービスの導入などに取り組み、より利用しやすい公共交通網の構築を図りたい。